

昭和十三年三月二十日

第一軍作戰經過概要

第七章 河北戡定戰

昭和十三年三月二十日
第一軍參謀部第一課



0095

正誤表

2.裏四行	陽泉早定附近	ノ次ニ	第十四師團ハ新郷平地ヲ挿入ス
4.裏上行	第三師團	ノ次ニ	「ヲ畫ケ
5.表一行	加橋材料中隊	ヲ屬スヲ畫ギ	ヲ消ス
6.表末行	師團	ノ次ニ	「ハ續」ト訂正

第一軍河北戡定戰作戰經過概要要圖左下潼関渡占領期ヲ訂正

0096

第七章 河北戰役

一軍ハ十二月二十五日黃河以北戰定ニ爲作戰計畫ヲ立案ス其ノ要旨左ノ如シ

方針

- (一) 軍ハ第二十師團ヲ以テ臨汾平地及蒲州平地ヲ第十四師團ヲ以テ新鄉平地ヲ^攻略シ南部山西省及河北平地ヲ戰定ス
- (二) 攻戰開始ハ第十四師團ハ十二月十五日(紀元節)第二十師團ハ十二月二十三日トシ作戰終了ヲ概ネ三月十日頃ト予定ス
- (三) 作戰終了セハ四師團ヲ重複配置シ已占領地域ヲ確保ス
各兵團行動ノ概要
- (四) 第十四師團ハ二月初旬ヨリ逐次漳河南岸地区ニ兵力集結シ作戰行動ヲ準備ス

0097

二月十日ヨリ攻撃ヲ開始シ當面ノ敵ヲ黃河以南ニ撃攘シテ
新郷平地ヲ攻畧スルト共ニ機ヲ速セス一部ヲシテ懷慶―
沃州―沁水―羽異城―曲沃道ニ回リ沁水平地ニ追撃セシメ第
二師團ノ退路ヲ遮斷セシム

(五) 第百八師團ハ第十四師團ノ進出ニ伴ヒ其ノ主力ヲ邯鄲、磁
縣附近ニ移シ第十四師團ノ守備勤務ヲ継承スルト共ニ應援
ノ能ハシカラザル

第十四師團ノ攻撃ヲ進展ニ伴ヒ歩兵四大隊、山砲一大隊ヲ基
幹トスル兵力ヲ以テ概ネ二月十三、四日頃ヨリ行動ヲ起シ彰德、
林縣―潞安道方面ヨリ潞安ヲ占領ス要スルハ更ニ主力ヲ以
テ屯留ヲ經テ臨汾平地ニ前進セシムルコトアリ

臨清及大名ノ守備兵力ハ一時歩兵一大隊ヲ基幹トスル兵力ニ減

少ス

別ニ歩兵ニ大隊及野砲ノ一部ヲ以テ彰徳ヲ守備ス

(六)第二十師團ハ概ネ二月中旬迄ニ逐次介休東西ノ線ニ進出シ作戰行動ヲ準備ス

二月二十三日ヨリ行動ヲ起シ當面ノ敵ヲ黃河以遠ニ擊攘シテ臨汾平地及蒲州平地ヲ攻略ス

(七)第百九師團ハ第二十師團ノ進出ニ伴ヒ第二十師團ノ守備勤務ヲ継承ス

離石方面ヨリ前進スル敵ニ對シテハ所要ニ應ジ之ヲ攻歟キスルノ準備ヲナス

(八)軍司令部ハ二月十一日以後彰徳ニ移ル

(九)軍兵站監ハ第百八師團ノ歩兵一大隊ヲ以テ石家

0099

莊ヲ守備ス

作戰終了後ノ處置

(十) 第二十師團ハ臨汾平地及蒲州平地 第百九師團ハ太
平地忻縣平地及陽泉平定附近 第百八師團ハ各一部
ヲ以テ潞安大名及臨清ヲ守備シ主力ヲ以テ順德湯陰
間ノ地區ノ確保安定任ス

二月十日軍ハ左記要旨ノ方面軍命令ヲ受ケ京漢線方面
ス 黃河左岸及南部山西省ノ戡定ニ關スル作戰任務ヲ受ケ

方軍作命甲第一八三號要旨

(一) 方面軍ハ京漢線方面黃河左岸地域及南部山西省ノ戡
定セントス

一第一軍ハ作戰準備ノ完整ニ伴ヒ其作戰ヲ前項ノ地域ニ推進スルト共ニ占據地域ノ確保安定ニ任スヘシ

二臨時航空兵團ハ右作戰ノ開始ニ伴ヒ一部ヲシテ第二軍ニ協力セシメ爾余主力ハ第一軍ニ協力シ且機ヲ求メテ隴海沿線敵航空勢力ヲ覆滅ニ任スヘシ

三月三ノ日第二軍ニ配屬中ナリシ本川旅團ハ第九師團ニ復歸セラレ又上海方面ヨリ北支ニ轉用セラレタル第十六師團ハ第一軍ニ配屬セラレ一月下旬ヨリ逐次第一軍作戰地域内ニ到着スルニ至リタルヲ以テ軍ハ左ノ如ク作戰計画ノ一部ヲ変更セリ

一第九師團ハ主力ヲ以テ路安平地ヲ攻略シ更ニ有力ナル一部ヲ以テ屯留一府城鎮一臨汾道方面ヨリ臨汾平地ニ

0101

追撃ス 別ニ歩兵三大隊基幹一部ヲ以テ陽泉昔陽附近ヲ守備ス

2 第一百九師團ハ機ヲ見テ離石附近ノ敵ヲ黃河以西ニ撃手攘ス

3 第十六師團ハ高邑邯鄲間ニ兵カヲ集結シ別ニ歩兵約一大隊ヲ以テ大名臨清ヲ守備シ又將來ノ作戰ヲ顧慮シ一部ヲ以テ長垣ヨリ下流運糧河々口ニ亘ル黃河ノ渡河点ヲ偵察ス

四 一月二十六日軍ハ前記作戰計畫ニ基キ石家莊軍司令部ニテ第十六師團以外ノ命令受領者ヲ集メ又第十六師團ニハ秦皇島ニ參謀ヲ派遣シ左記要旨ノ命令ヲ下達ス

一 軍作命令甲第一七八号要旨日

(一) 曩ニ我第一軍ハ爲撃ヲ破セラレシ敵ハ大部黃河以南ニ遁

シ南部山西省及新郷平地ニハ山西軍商震軍萬福麟
 軍及共產匪軍敗殘諸部隊並新到着セシ陝西
 軍及四川軍ノ各一部アリ其重要別紙要圖ノ如シ
 一軍ハ紀元佳節ヲ期シテ作戰行動ヲ起シ當面ノ殘敵ヲ
 撃滅シテ黃河以北ヲ數定セース
 三第十四師團(第一百八師團)歩兵二大隊砲兵一中隊獨立
 機關銃一大隊輕裝甲一中隊戰車一大隊獨立山砲一
 大隊十五榴一旅團(一大隊)十加一大隊氣球一中隊高
 射砲一隊架橋材料一中隊ヲ屬スハ逐次其兵力ヲ南
 方ニ進メ二月十一日彰德附近ヲ發シ新郷平地ヲ攻略シ
 更ニ有力ナル一部ヲ以テ懷慶一澤州一沁水一翼城一曲
 沃道方面ヨリ曲沃平地ニ追撃スヘシ

大名一濮陽道上ヲ前進スル部隊ハ二月十一日以前漳河以南ニ進出スルコトヲ得

(四) 第百八師團(歩兵二大隊及砲兵一中隊ヲ及キ独立機関銃一大隊山砲一中隊十五榴一大隊迫撃手一大隊高射砲一隊ヲ屬ス)ハ第十四師團ノ移動ニ伴ヒ逐次其兵力ヲ南方ニ進メ二月十三日以後武安、水冶鎮ノ線ヲ發シ潞安平地ヲ攻略ニ更ニ有力ナル一部ヲ以テ屯留一府城鎮一臨汾道方面ヨリ臨汾平地ニ迫撃キスヘシ

別ニ歩兵三大隊ヲ基幹トスル一部ヲ以テ陽泉、昔陽附近ヲ準備スヘシ

(五) 第二十師團 輕裝甲一中隊山砲一聯隊十五榴一聯隊(一中隊ヲ加ヘ)一大隊迫撃一大隊高射砲一隊獨立工兵一聯隊架

橋材料(中隊)ヲ屬スハ月日三月二十三日ト予定スルモ後命
介休附近ヲ發シ臨汾平地及蒲州平地ヲ攻略スヘシ
靈石附近敵陣地ノ外方ヲ迂回スル部隊ハ月日以前介
休東西線以南ニ進出スルコトヲ得 靈石附近敵陣地突
破後野戰重砲兵第三聯隊長、指揮スル全聯隊ノ一
大隊(中隊欠)聯隊段列半部及旅團輜重ノ一部ヲ第
百九師團ニ轉屬スヘシ

(六)第百九師團(獨立機関銃一、五榴一中隊高射砲一隊
後備歩兵三大隊 後備騎兵及野砲兵各一中隊ヲ屬スハ
機ヲ見テ離石附近ノ敵ヲ黃河以西ニ撃攘スヘシ

(七)第十六師團(歩兵一大隊ヲ欠キ高射砲一隊ヲ屬スハ高邑
邯鄲間ニ兵カヲ集結スヘシ別ニ各歩兵約一大隊ヲ以テ

大名及臨清ヲ守備ニ二月十日以後歩兵二大隊砲兵一大隊
工兵一聯隊ヲ基幹トスル部隊ヲ磁縣ニ於テ隨時軍ノ使用
ニ供シ得ル能心執力在ラシメ二月十日以後歩兵一大隊ヲ以テ
彰德ヲ敬言備スヘシ

又將來ノ作戰ヲ顧慮シ一部ヲ以テ長垣附近ヨリ運糧
河々口ニ亘ル間黄河渡河點ヲ偵察スヘシ

二月十日以後作戰ノ進捗ニ伴フ作戰地境ヲ左ノ如ク定ム

(イ) 第十四師團 第十六師團間

林縣 湯陰 道口鎮 長垣 蘭封ヲ連ヌル線(線

上ハ第十六師團ニ屬ス)

(ロ) 第十四師團 第一百八師團間

林縣 高平ヲ連ヌル線(線上ハ第一百八師團ニ屬ス)

イ 第百八師團 第十六師團間

九龍關、黃榆關、麻田鎮、涉縣、林縣ヲ連ル線
(線上ハ第百八師團ニ屬ス)

ロ 第二十師團 第百九師團間

永和、陽縣、霍縣、沁源ヲ連ル線(線上ハ沁源ノミヲ
百九師團ニ屬シ他ハ第二十師團ニ屬ス)

ハ 第百九師團 第百八師團間

耿家莊鎮(五台東方)、壽陽、馬坊鎮、宜城鎮、沁
源ヲ連ル線(線上ハ第百九師團ニ屬ス)

ニ 第百八師團 兵站監警備地區間 警備地境

娘子關、九龍關ヲ連ル線(線上ハ第百八師團ニ屬ス)

ホ 兵站監警備地區 第十六師團間 警備地境

0107

九龍關、贊皇、高邑、寧晉、冀縣ヲ連ヌル線（線
上ハ高邑ノミ、第十六師團ニ屬シ他ハ兵站監督
備地區ニ屬ス）

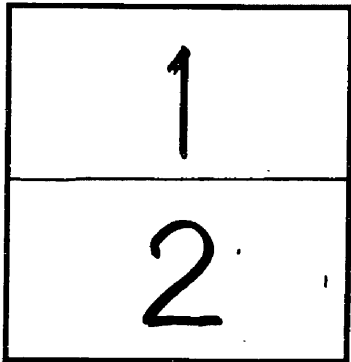
予ハ石家莊ニ在リ

二月十日戰闘司令所ヲ彰德ニ進ム

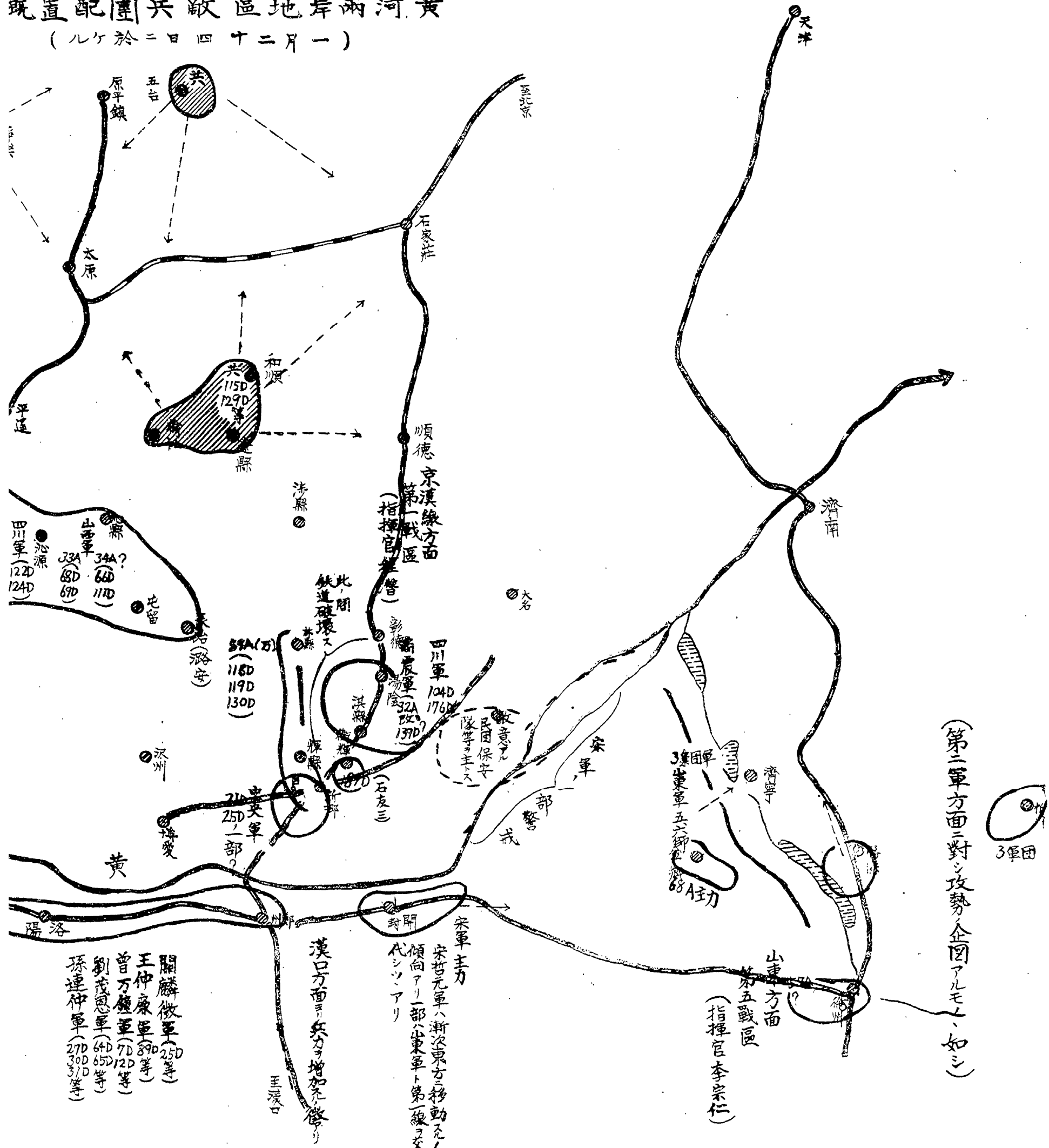
五、第十四師團ハ二月十日攻撃ヲ開始シ魏家營（彰德南
方約七粁）東西ノ線ニ數線ニ設備セル敵陣地ヲ攻略シ二月
十三日淇縣西南方清河右岸ノ線ニ進出シテ衛輝及其
西北方地區ノ敵陣地ニ對シ攻撃ヲ準備ス此間師團ノ一
部ハ二月七日大名ヲ出發シ濮陽ヲ經テ十三日長垣ニ十七日
新鄉南方地區ニ進出セリ

師團ハ十五日衛輝附近ノ敵陣地ヲ重点ヲ京漢線西方

分割撮影ターゲット

分割した 部 分 の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版以上のため
文書等名	黄河兩岸地区敵兵團配置概要図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

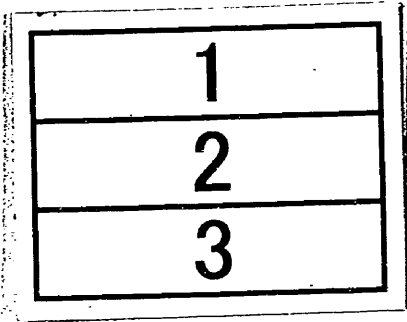
既置配團兵敵區地岸兩河黃
(ルヶ於二日四十二月一)

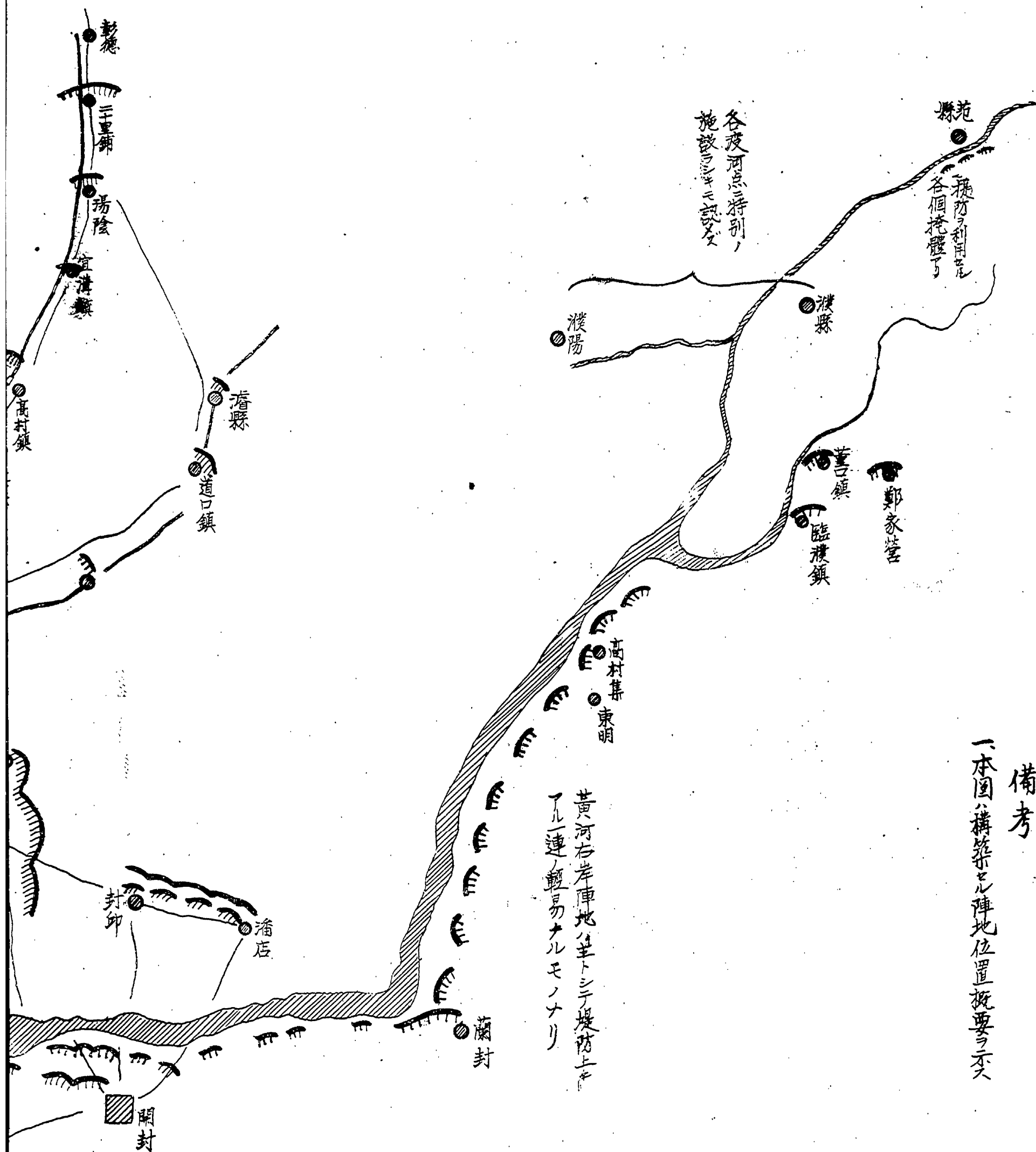


(一 月 二 十 四 日 於 八)



分割撮影ターゲット

分割した 部 分 の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版以上のため
文書等名	京漢線方面敵陣地位置要図 東陽関附近敵陣地位置要図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

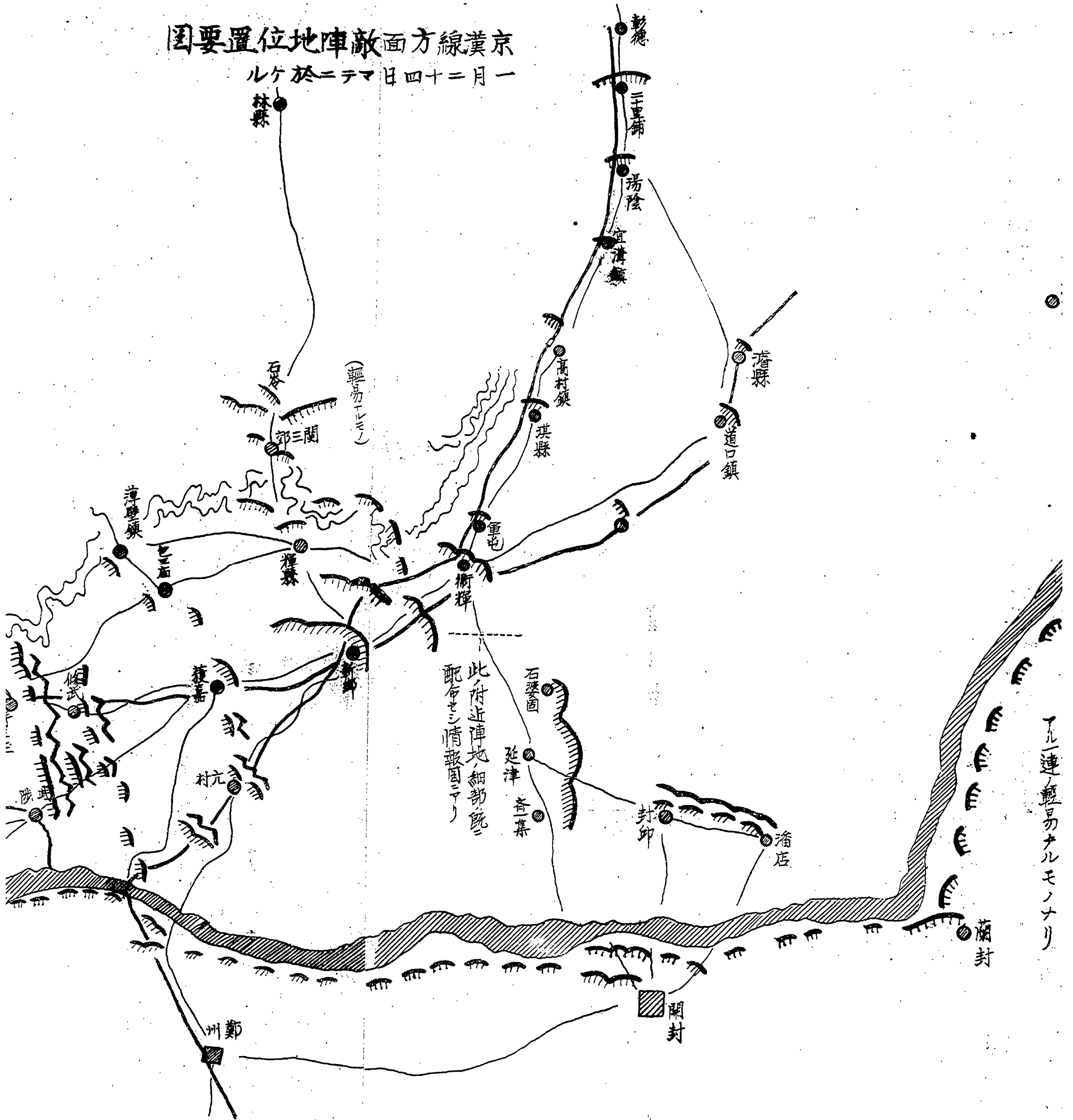


備考

一本圖ハ構築地陣地位置概要ヲ示ス

京漢線方面敵陣地位要圖

一月二十四日マテニ於ル

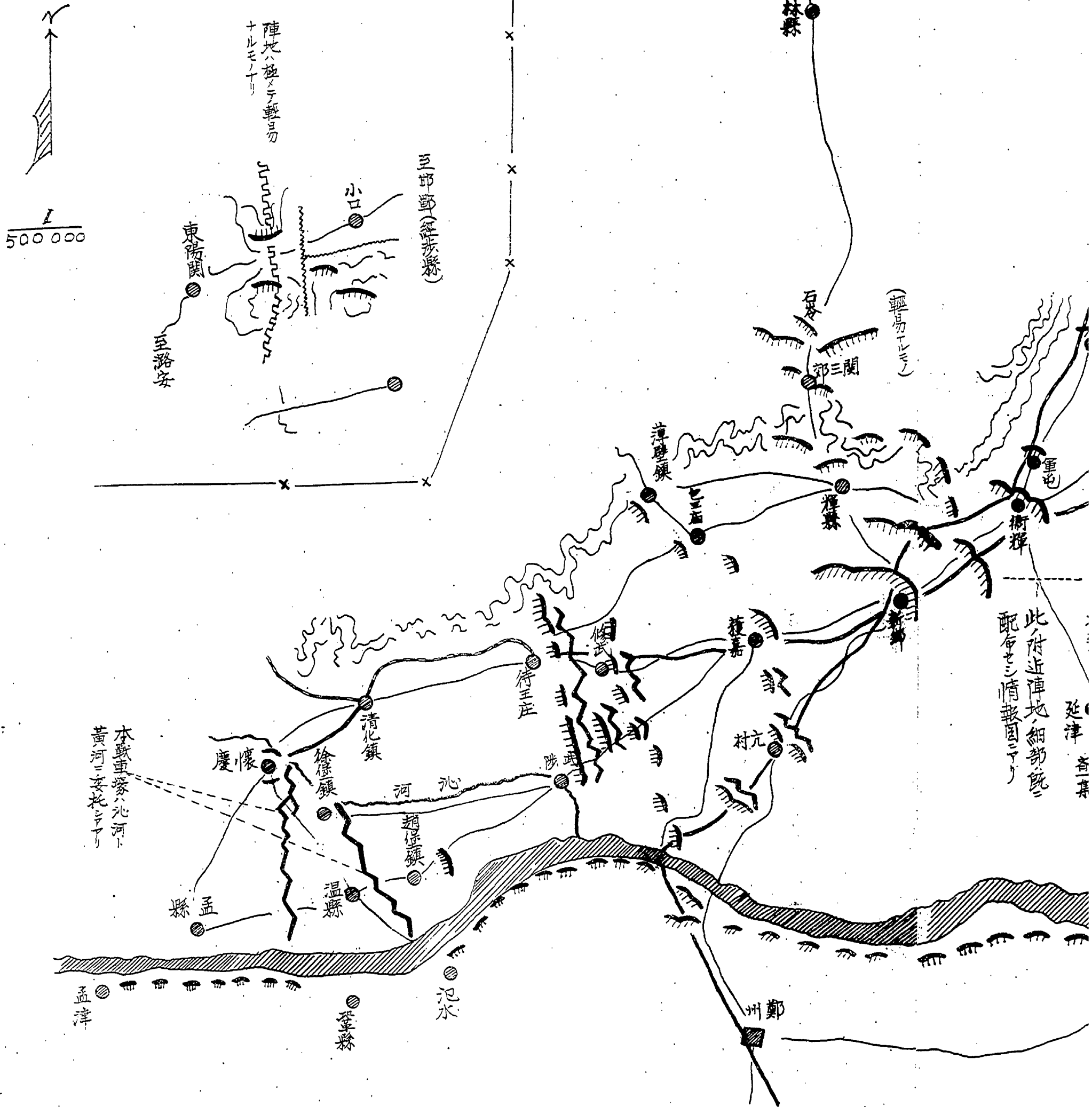


丁一連ノ輕易ナルモノナリ

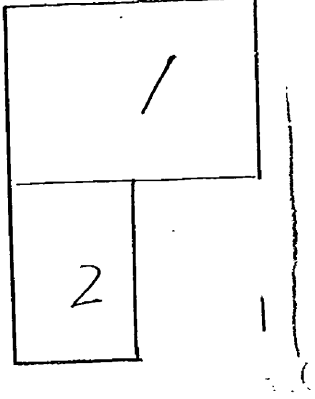
東陽関附近敵陣地位要図

京漢線方面敵陣地位要図

一月二十四日マテニ於ル



分割撮影ターゲット

分割した 部 分 の 撮 影 順 序	
分割撮影 した理由	A 3 版以上のため
文書等名	山西方面敵陣地位地要図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

山西方面敵陣地位要圖

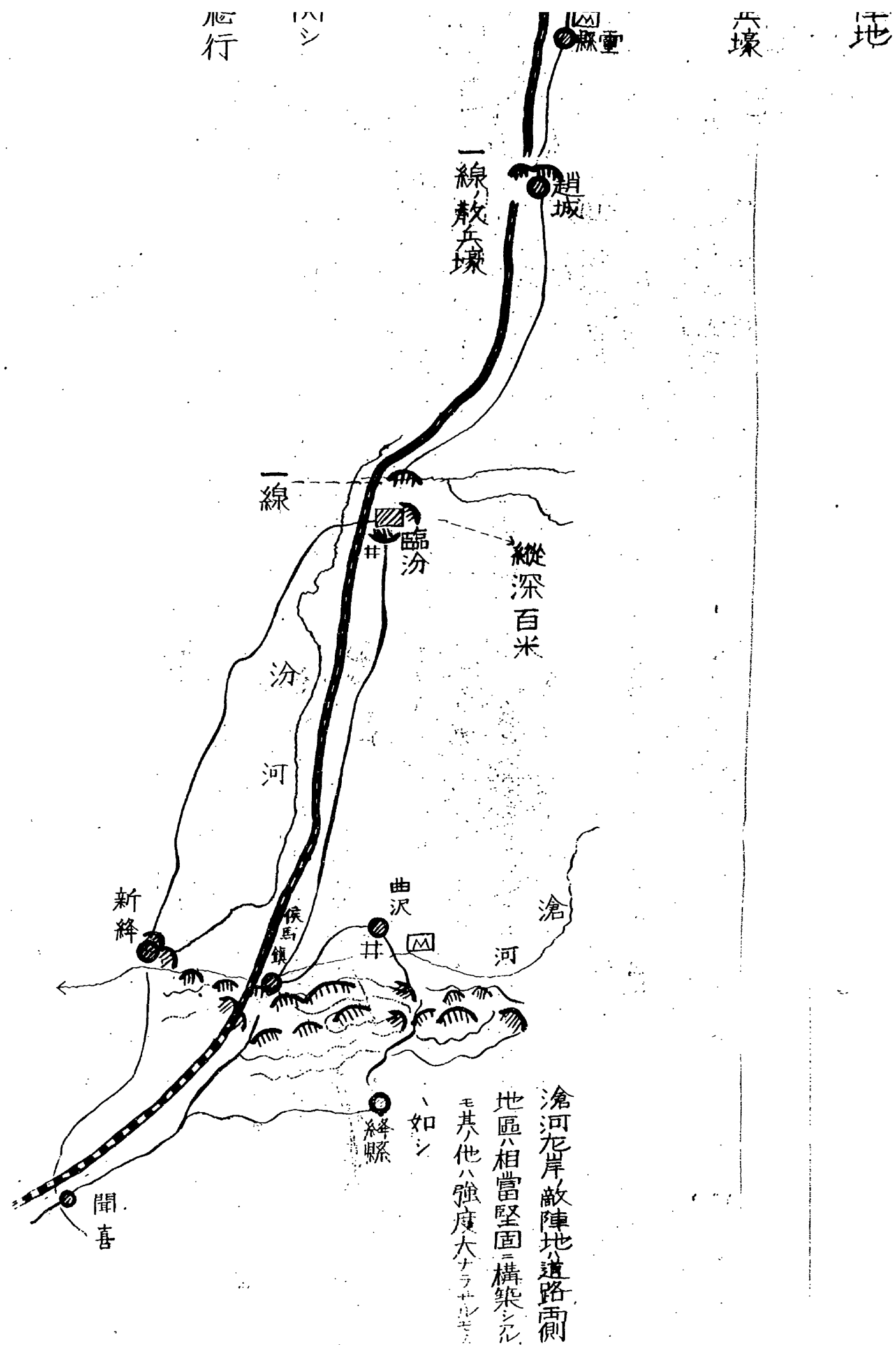
(於一月二十四日マテ)

別紙要圖第三ノ二



備考

- 一 本図ハ構築セル陣地ノ位置ヲ示スモノニシテ其ノ詳細ニ関シテハ既往ノ情報記録等ニ據ルモノトス
- 二 汾陽離石間ニハ陣地ヲ構築シアラサルガ如キモ更ニ飛行機ヲハテ搜索中ナリ



山地方面ニ指向シテ攻撃シ十六日輝縣ヲ十七日新郷ヲ攻略セリ

(2) 第百八師團八月十三日武安ヲ發シ諸所ニ敵ヲ撃破シツツ西進シ十六日東陽關ノ嶮ニ據レル敵ヲ包圍攻撃シテ追撃ヲニ移リ十七日夕黎城ヲ占領セリ

(3) 第二十師團八月十日太谷檢次附近ヨリ行動ヲ起シ十三日二十遙ヲ攻略シ十六日介休孝義附近ニ進出シテ爾后ノ攻撃ヲ準備ス

(4) 第百九師團八月十三日太原清源附近ヨリ行動ヲ開始シ十六日文水東社鎮ヲ十七日汾陽ヲ占領シ離石方面ニ對スル作戰ヲ準備ス

(5) 軍八第十四師團第百八師團ノ攻撃ヲ予定以上順調ニ進

0116

拂シ第二十師團ノ攻撃ヲ準備亦予想ノ如ク行ハレアルヲ
知リ二月十四日夕第二十師團ヲシテ予定ノ如ク二月二十三日
介休附近ヲ出發セシムルニ決シ之ニ關スル命令ヲ下達セリ亦
第十四師團ノ作戰進拂ニ伴ヒ其後方地區ヲ警備スル
爲メ第二十師團ニ對シ三月十六日正午左記要旨ノ命令ヲ下
達ス

一軍作命甲第一九四号要旨

(一) 林縣南方地區ニハ孫殿英軍、道口鎮附近ニハ石友三軍
アルカ如シ

(二) 第二十師團ハ高邑、彰德、濮陽、臨清ノ間ヲ準備シ且黃河
ノ線ヲ警戒スヘシ

別ニ一部ヲ以テ道口鎮附近ノ敵ヲ擊手攘シ作戰地境ニ拘

又新郷衛輝附近ニ進出シテ軍ノ左側並彰德衛輝間ノ
鐵道及兵站施設ヲ安全ナラシムヘシ

一軍作命甲第一七八号ニ依ル磁縣集結部隊ハ適宜師
團ニ於テ之ヲ使用スルコトヲ得

六川第百師團ハ十七日午後ヨリ新郷北方地區ヲ發シ十八日修
武附近ノ敵陣地ヲ北方ヨリ迂回シ所在ノ殘敵ヲ攻撃シツ、
二十日清化鎮ヲ二十日懷慶ヲ占領シ茲ニ京漢線方面黃
河以北ノ戡定ヲ完成セリ此間師團ハ一部ヲ封邱附近並
新郷輝縣附近ニ殘置シ警備ニ任セシム

(2) 第百八師團ハ十日漳河ヲ渡河シテ追撃前進ニ移リニ
十日拂曉前路安城ヲ攻略シ茲ニ第二期ノ作戰目的ヲ達
成ス師團、續イテ臨汾支隊ヲ府城鎮ヲ經テ臨汾ニ向ヒ

0118

前進セシメ該隊ハ疲勞ヲ顧ミヌ二十日午後潞安ヲ出發西
進シ天嶮ヲ利用セル敵ヲ撃破シテ二十六日臨汾平地ノ一
角ニ進出ス

(3) 第三十師團右側支隊ハ十六日孝義附近ヲ出發シ逐次
優勢ナル敵ヲ撃破シシ、大麥郊鎮ヲ經テ西進シ二十一日
石口鎮附近竝ニ二十四日下李村(石口鎮西南方約十六料)
附近ニ於テ攻勢カニ轉シ來レル數倍ノ敵ヲ撃破シ二十六
日隰縣ニ進入セリ師團主力ハ右翼隊ヲ以テ汾河西方地
區ヨリ左翼隊ヲ以テ汾河東方地區ヨリ包圍的ニ仁義
鎮東西ノ線ニ反斜面的ニ主陣地帶ヲ占領セル敵ヲ攻撃
シ二十四日全線攻勢カニ轉シ來レル優勢ナル敵ト所在ニ
遭遇シ激戰ニ日二十六日遂ニ之ヲ撃破シテ霍縣附近ニ

進出シ追撃手ニ移レリ

(4) 第百九師團ハ二十日汾陽東社鎮附近ヨリ三縱隊トナリテ行動ヲ開始シ敵ヲ驅逐シツ、二十四日夕離石ヲ占領シ其一部ハ二十七日黃河ノ線ニ到着セリ此間敵ハ二十三、四日頃ヨリ文水、交城附近ノ後方ヲ擾乱シ來レルヲ以テ師團ハ豫メ備ヘタル所ニ從ヒ兵ヲ廻シテ之ガ掃蕩ヲ行ヘリ

(5) 軍ハ二十四日夜第百二十師團正面ニ於テ山西方面ノ敵軍主力攻勢カニ轉シ來レルヲ好機トナシ之ヲ南部山西平地ニ捕捉撃手滅スルニ決シ左記要旨ノ命令ヲ下達セリ

一 軍作命甲第二〇一號ノ要旨

(一) 第百八師團及第十四師團ノ爲撃破セラレシ敵ハ續々南部山西平地ニ向ヒ潰走中ナリ

0120

第二十師團ハ昨二十三日ヨリ靈石附近ノ敵陣地ニ對シ攻撃ヲ開如セリ

臨汾支隊ハ二十四日府城鎮ニ入レリ

第十四師團石黑支隊ハ本二十四日懷慶ヲ發シ澤州ニ

沁水ニ曲沃道ヲ又今酒井支隊ハ明二十五日沁水源ヲ發シ垣曲ヲ經テ何レモ曲沃平地ニ向ヒ追撃手ス

(二) 軍ハ南部山西平地ノ敵ヲ捕提撃滅セントス

(三) 第二十師團ハ前任發カテ續行スヘシ

(四) 第一百八師團長ハ臨汾支隊ヲシテ速ニ臨汾ニ進出シ

第二十師團當面ノ敵ノ退路ヲ遮斷セシムヘシ

(五) 第十四師團長ハ速ニ石黑支隊ヲシテ曲沃附近ヲ經テ禹門渡場(河津西北方)ニ向ヒ又酒井支隊ヲシテ

一部ヲ以テ陝縣渡場ニ向ヒ主力ヲ以テ潼關渡場ニ向ヒ夫々急追セシメ敵主力ノ退路ヲ遮断セシムヘシ

七第二十師團ハ追撃ヲ續行シ二十七日趙城ニ達シ第百八師團臨汾支隊ハ二十七日臨汾ヲ占領シ第十四師團ノ石黑支隊ハ嶮難ナル山地ニ據レル敵ヲ攻撃シソソ沢州西方沁河ノ線ニ達シ同酒井支隊ハ難路ヲ克服シソソ二十七日垣曲東方地區ニ達セシヲ以テ軍ハ南部山西平地ニ於ケル各追撃部隊ヲ統制スル爲ニ二十七日夜左記要旨ノ軍命令ヲ下達ス

一軍作命甲第二〇五號 要旨

(一)第百八師團長ハ臨汾支隊ヲ以テ其任務達成後歩兵一大隊砲兵一中隊ヲ基幹トスル部隊ヲ臨汾

0122

殘置シ第二十師團長ノ區處ヲ以テ敗殘兵掃蕩竝第二十師團後方警備ニ任セシメ主力ヲ以テ適時潞安平地ニ歸還セシムヘシ

(二) 第卅師團石黑支隊(步兵二大隊砲兵一大隊基幹)ハ沁水附近進出ノ時ヲ以テ、全酒井支隊ハ垣曲附近進出ノ時ヲ以テ夫々第二十師團長ノ指揮ニ屬ス

(三) 前項部隊ト第二十師團個有部隊トノ行進又ニ方リテハ第二十師團個有部隊ニ優先權ヲ附與ス

(四) 作戰地境ヲ左ノ如ク延伸ス

(イ) 第二十師團、第百八師團間

沁源府城鎮 沁水ヲ連ヌル線(線上ハ沁源ノミ第
百九師團ニ屬シ他ハ第二十師團ニ屬ス)

(四) 第百八師團 第十四師團間

高平 沁水ヲ連ヌル線(線上ハ沁水ノミ第二十師團
屬シ他ハ第百八師團ニ屬ス)

(イ) 第二十師團 第十四師團間

沁水 垣曲ヲ連ヌル線(線上ハ第二十師團^(師)ニ屬ス)

ハ第二十師團ハ二十八日臨汾ニ進出セシカ補給ノ關係上一
時該地附近ニテ隊伍ヲ整頓シ三月四日曲沃汾城
ノ線ヲ發シ主力ヲ以テ蒲州潼關渡ニ向ヒ一部ヲ以テ
河津禹門渡ニ向ヒ又第十四師團ヨリ新ニ指揮ス
三日聞喜附近ニ進出セル酒井支隊ハ陝縣芮城渡ニ

0124

向ヒ夫々追撃セシム

各追撃隊ハ各ニ勇躍追撃ニ移リ六日午後蒲州及禹
門渡ヲ占領セルヲ始トシ七日午後潼關渡ヲ八日黃城及
平陸ヲ占領シ茲ニ全ク南部山西省ニ於ケル黃河ノ各渡
場ヲ確保シ敵ノ退路ヲ完全ニ遮断セリ

石黒支隊ハ沁河右岸ノ敵ヲ撃破シ三日陽城ニ四日
翼城ニ六日曲沃ニ進出シ兵力ヲ集結ス

九第百九師團ハ離石占領後太原北方地區、文水、交城
附近並太谷、平遙附近ニ敵兵現出シテ我後方ヲ擾乱
セルヲ以テ太原平地ニ主力ヲ反轉シ三月ニ入リテヨリ逐次之
等ノ敵ヲ撃退シテ治安ヲ恢復セリ

十第十四師團ハ先ニ一部ヲ以テ孟縣附近黃河線ニ進

出シテ黃河對岸ニ砲撃ヲ加ヘ又三月一日ヨリハ溫縣附
 付ニ一支部ヲ派遣シテ鞏縣汜水附近ノ隴海線ニ砲
 撃ヲ加ヘ其運行ヲ一時停止セシム之等ノ行動ハ
 第二十師團ノ行ヘル潼關閿鄉靈寶陝縣附近ニ
 對スル砲撃ト相俟ツテ著シク隴海線ヲ脅威セリ

三月十日軍ノ河北戡定戰ハ多大ノ戰果ヲ收メテ終アセリ
 曩ニ紀元ノ佳節ヲトシ勇躍作戰行動ヲ開始セシヨ
 リ以來二十有六日三十余万ノ敵軍ニ對シ新鄉平地ニ終
 安平地ニ或ハ靈石離石一帶ノ峻峻ナル山地帶ニ勇戰
 奮斗隨所ニ之ヲ撃手滅シ長驅百數十里一舉大黃河ノ
 線ニ進出セリ

今ヤ軍ハ山河ノ險ヲ扼シ敵ノ退路ヲ完全ニ遮斷シ隴

0126

海線ヲ指呼ノ間ニ望ミ意氣天ヲ衝クモノアリ
軍ハ此機會ニ於テ直ニ兵ヲ廻ラシ共產匪軍及後方
山中ニ遁入セル敗敵ヲ掃蕩肅清セントシ十日陸軍記念
日ノ佳日際シ各兵團參謀ヲ集メ之カ命令ヲ下達セリ
其要旨左ノ如シ

一軍作命 甲 第三〇六號 要旨

一 各兵團ノ勇力戰ニ依リ敵ハ多大ノ損害ヲ被リ其大部ハ
黃河以遠ニ遁走セリ山西省内太原潞安兩平地
中間山地潞安平地北方山地内五台附近並山西
陝西省境附近ニハ尙相當ノ共產軍及敗殘部隊
アリテ軍ノ後方擾亂ヲ企圖シアルモノノ如シ
二 軍ハ既占領地域ヲ確保セントス

0127

(三) 第二十師團 (輕裝甲一中隊 迫撃一大隊ヲ 第百九師團ニ轉屬ス) ハ南部山西平地ヲ守備シ且黃河ノ線ヲ警戒スヘシ

(四) 第十四師團 (第百八師團ノ步兵二大隊 野砲一中隊ヲ原所屬ニ復シ 輕裝甲一中隊 戰車一大隊 十五榴一大隊 架橋材料一中隊ヲ他ニ轉屬シ 新高射砲一隊ヲ配屬ス) ハ新郷平地ヲ守備シ且黃河ノ線ヲ警戒スヘシ

(五) 第十六師團 (新三十五榴一大隊及架橋材料一中隊ヲ第十四師團ヨリ轉屬ス) ハ高邑、彰德、濮陽、臨清間ヲ守備シ且黃河ノ線ヲ警戒スヘシ 將來黃河渡河ノ目的ヲ以テスル渡河點偵察ノ任務故ノ如シ

0128

(四) 第百九師團(新ニ輕裝甲一中隊追撃ヲ一大隊ヲ第一
ニ十師團ヨリ轉屬ス)ハ太原平地竝離石附近ヲ
守備シ且磧口鎮及軍渡附近黃河ノ線ヲ警戒
スヘシ

(五) 第百八師團(第十四師團配屬中ナリシ步兵二大隊
砲兵一中隊ヲ復歸ス)ハ潞安平地竝陽泉昔陽
附近ヲ守備スヘシ

(六) 作戰地境ハ概テ故ノ如シ

(七) 各師團ハ作戰地域内ノ安定ニ任シ且鐵道通信
及兵站施設竝飛行場ヲ警戒備スヘシ

本次作戰後成ルヘク速ニ別紙計畫ニ基キ共產
軍及敗殘部隊ヲ掃滅スヘシ

(十) 予ハ三月十日彰徳戰鬪司令所發石家莊軍司令部
ニ歸還ス

(十一) 河北戡定戰ニ於テ各兵團ノ損害並敵ニ與ヘタル打
撃ハ別表ノ如シ

(十二) 河北戡定戰經過概要別紙要圖ノ如シ

0130

共產軍及敗殘部隊掃滅計畫

作戰時期ハ關
係師團ノ協定
ニ依リ決定スルモ
四月中ニ終了スル
如ク實施ス

河北獻足戰人馬損傷一覽表

昭和十三年三月十日
第一軍軍醫部獸醫部編

區分	人		馬	
	戰死	戰傷	戰死	戰傷
第百師團	一七六	一〇〇	一七六	五七
第百一師團	一六三	一〇九	二五八	九九
第百二師團	四九	二六〇	一〇三	二三
第百三師團	五四	二五九	七九	二四
第百四師團	三	三	/	/
兵站	一三	二五	/	/
計	六五七	三一六八	四九七	二一四
				七一

0132

河北			敵定戰敵ニ與ヘタル打撃手概數表	
區分	敵遺棄屍體	主要ナル凶獲品		
第十四師團	一四、八四〇	迫撃砲約十、機關銃約六十、小銃數百、小銃彈數方		
第二十師團	一五、二八五	迫撃手砲八、機關銃約百三十、小銃千數百、彈藥百五十方、團旗三、鐵道運轉材料多數		
第百八師團	七、三五〇	山砲一、迫撃手砲一四、九、機關銃二八、彈藥十數方、相團旗二、鐵道運轉材料多數		
第百九師團	四、〇五〇	機關銃約十、小銃多數、彈藥數方、發、自動車七、揮發油多數		
第十六師團	三、二〇			
兵站	四、七七			
計	四、三、三、二、二			

0133